



9月とはいえ、残暑の厳しい日々でした。幸いに各クラスにエアコンが整備されているので、子どもたちは、気持ちよく学習することができました。ただ、体育や野外活動は、きつかったことと思います。10月も油断はできません。熱中症に気を付け、運動会の練習等に取り組んでほしいと思います。

【参観日・9/4】

2学期最初の参観日がありました。今回は午前中の開催でした。保護者の皆様には、ご多用の中、時間を作って参観や懇談等ご参加いただき、ありがとうございました。子どもたちが元気に学習に取り組んでいる様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。また、学校保健委員会もあり、こちらも参加いただいた保護者の方もいらっしゃいました。ありがとうございました。

今後とも学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。



【4年生の様子】

【榎原小学校との交流・9/12】

榎原小学校の児童が第2回目の交流に来ました。各クラスに分かれ、国語や算数、音楽、体育、外国語活動等一緒に学習しました。榎原小学校は、まだエアコンが整備されていないので（今年度整備予定）快適に過ごすことができたことでしょう。今年度はもう交流はありませんが、子どもたちは、次回を大変楽しみにしていました。互いの絆を深めた1日でした。



【3年生の様子】

【修学旅行・9/26～9/27】

9/26（木）に出発し、桜島、維新ふるさと館、自主研修と計画どおり実施しました。2日目は、知覧特攻平和館、平川動物園を巡りました。2日とも天気にも恵まれ、トラブルもなくみんな元気に過ごすことができました。おみやげも慌てずよく選んで買うことができました。あいさつやマナー、5分前行動等しっかりできました。思い出に残る修学旅行となりました。保護者の皆様には、準備や送迎等ご協力いただきありがとうございました。



【食事の様子】

【PTA奉仕作業・延期】

9/29（日）に予定されていた「PTA奉仕作業」は、荒天が予想されたため10/5（土）に延期になりました。9/29当日は、天気がよかったです。運動場には水がたまっており、作業ができる状態ではありませんでした。ご迷惑をおかけしますが、10/5（土）にご協力をお願いします。

10月の主な行事

1日（火）	身体計測、視力検査（2年）	25日（金）	振替休業日（10/26分）
2日（水）	身体計測、視力検査（3、4年）	26日（土）	運動会前日準備
3日（木）	身体計測、視力検査（5、6年）	27日（日）	運動会
5日（土）	PTA奉仕作業	28日（月）	振替休業日（10/27分）
16日（水）	運動会予行	31日（木）	全校集会（4年 音楽発表）

裏面もご覧ください



① やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ

この言葉は、「山本五十六」(連合艦隊司令長官)の名言です。この言葉には、続きがあります。

② 「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」

①の言葉について、「あいさつ」を例に考えてみます。

親があいさつをやってみせて、あいさつの必要性を話し、子どもにあいさつをさせて、あいさつができた褒めることであいさつができるようになる

まとめると次のようになります。

- ① まず、指導者(親や先生など)が子どもに手本を示す。常時、模範となるよう行動する。
- ② その必要性を話す。
- ③ 子どもにさせる。
- ④ できたら褒める。

指導者が、子どもに「〇〇しなさい。」と言うことがありますが、指導者ができていないと子どもは、素直に行動に移しません。中には、「口ばかりで、自分はしてないわ!」と思う子どもがいます。子どもにさせたいことがあれば、まず指導者が実行していなければいけません。

次に、「なぜそれをしなければいけないのか?」子どもに話す必要があります。例えば「あいさつ」という「なぜあいさつをしなければならぬのか?」について、子どもに話す必要があります。「あいさつは、人としての礼儀です。時間帯によってその言葉は違ってきます。あいさつしたりされたりすると気持ちがいいよね。気持ちのいい1日を過ごすためにはあいさつが必要なんですよ。」のように話す必要があります。

そして、子どもがあいさつしたら、したことを「よく頑張ってあいさつしたね! えらい!!」と褒めましょう。

この一連の流れを通すことで、子どもは目的や意欲をもってあいさつに取り組むでしょう。

②の言葉について、「班長」を例に考えてみます。

班長をしたいということについて話し合い、したい理由をよく聞き、班長になることを認め、班長を任せ、その姿に感謝し見守り、信頼することで班長としての資質が結実していく。

子どもは、いろいろとやってみたいと思うものです。また、指導者は、そろそろ〇〇をさせようと意図するものです。その場合、自分から望む場合はその理由を聞きます。次に、そのことがどんなことなのかをよく話します。「班長」の例で言うと「班長は、班の仲間の面倒をみななければならない。いろいろ指示しなければならない。班をまとめる、etc. そういう仕事がある。」そして、班長をさせます。失敗することがあるかもしれませんが、それでも、見守り、最後まで任せます。この経験をとおして班長としての資質が高まっていきます。

大切なのは、「まだ、あなたには無理だわ!」と言わないことです。できるか、できないかは、本人が判断します。それにはよく話を聞き、そのことについてしっかり話をすることです。本人が「できる」と思えば、任せてみることです。何事も挑戦しなければ、身に付きません。「無謀」はいけませんが、「無謀」にならないよう、話を聞く、話をすることが大切です。